

○脱炭素ビジネス（新技術実装WG、脱炭素経営WG）

WG名称	令和4年度の検討状況	今後の検討の方向性
新技術実装WG WG長： 産業創造課長 副WG長： 脱炭素・エネルギー政策課長 第1回:11/29 第2回:2/24	○新技術の実装に関わる支援施策を効果的に推進・加速化していくため、以下を実施。 ・各施策（計画・技術開発支援・普及支援等）の進捗及び検討状況を共有・整理 ・上記を踏まえ、施策間連携や国への要望内容等を検討	▶技術関連施策の情報共有・連携検討、国への要望内容の調整 ▶CN技術開発・実証事業の採択技術等、新技術の実装に向けた取組みについて部局間連携検討 （1）情報発信 （対象：府民・事業者や市町村等） （2）府の施設等における活用 （3）関連する施策事業等における活用 ▷R5上半期にWGを開催予定
脱炭素経営WG WG長： 環境農林水産部副理事、 商工労働部経営支援課長 第1回:9/30 第2回:2/24	○事業者による脱炭素経営の促進に関する取組みの全体像の整理 ・脱炭素経営支援パッケージの構築 ・脱炭素経営宣言支援制度の創設 ○上記を踏まえた中小事業者の支援のための新たな施策の検討 ・業種別データの分析など府域の特徴を踏まえた支援の検討 ・各種支援機関において脱炭素の対応を行うための人材育成支援策の検討	▶R6予算要求での中小事業者による脱炭素経営の促進に向けた新たな施策の打ち出し ・産業、業務、運輸各部門における課題の整理及び事業者ニーズに即した新たな取組みの検討 ・商工会議所等各種支援機関における人材育成のための研修・ツールづくり等の検討 ▶支援機関や民間事業者等と連携した脱炭素経営宣言支援スキームの取組みの推進 目標：宣言事業者800者 ▷R5上半期にWGを開催予定

各WGの検討状況及び今後の検討の方向性

○行動変容・再エネ促進（行動変容WG、脱炭素まちづくりWG）

WG名称	令和4年度の検討状況	今後の検討の方向性
行動変容WG WG長： 環境農林水産部 副理事 副WG長： 広報広聴課長 第1回:11/9	<ul style="list-style-type: none"> ○各部局の行動変容施策の共有・連携 <ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素要素の組込みや相互連携の検討 ・各部局の脱炭素に関する施策やイベント情報を適宜共有するための連携体制の検討 ○環境保全基金を活用した新規事業の共有 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度新規事業の連携検討 	<ul style="list-style-type: none"> ▶令和5年度事業の連携 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業に関して各部局間の連携を検討するため、令和5年度に講じようとする施策の情報を共有 ▶令和6年度新規事業の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全基金を活用した令和6年度の新規事業の検討（4月以降） <p>▷R5上半期にWGを開催予定</p>
脱炭素まちづくりWG WG長： 環境農林水産部 副理事 副WG長： 事業企画課長 第1回:11/7	<ul style="list-style-type: none"> ○地域脱炭素に係る国交付金の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・重点対策加速化事業の活用に向けた検討 ○まちづくりの計画段階から脱炭素を組み込むための方策の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素を反映したまちづくりのプランイメージの整理や適切な公募要件の設定等の検討 ○府が管理するインフラ等施設における脱炭素に資する取組みの検討 <ul style="list-style-type: none"> ・活用可能な新技術の整理等 	<ul style="list-style-type: none"> ▶R6予算要求での国交付金(重点対策加速化事業)の申請に関する検討 <ul style="list-style-type: none"> ・庁内再エネポテンシャル調査(再エネWGで実施、R5.3月～)、ZEB化計画(ZEB化WGで検討)、ZEH化計画、モビリティ関係事業等をとりまとめ、交付申請 ▶まちづくりのプランイメージやひな形の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・先行事例の研究及び市町村や関係団体等との意見交換を行うとともに、まずはめざすべき将来像を議論 <p style="text-align: right;">など</p> <p>▷R5上半期にWGを開催予定</p>

各WGの検討状況及び今後の検討の方向性

○率先取組（府有施設ZEB化WG）

WG名称	令和4年度の検討状況	今後の検討の方向性
府有施設ZEB化WG WG長： 脱炭素・エネルギー政策課長 副WG長： 公共建築室 計画課長 第1回:8/30 第2回:2/21	○新築・増改築におけるZEB化推進方針の策定に向けた検討 ・以下のとおり、ZEB化の方向性を整理 ①途中更新が難しい外皮は、新築・増改築時に高断熱化を図ることが、将来にわたってエネルギー消費を削減する観点から重要 ②外皮の高断熱化、空調・照明等のエネルギーマネジメントにより、空調・照明等のダウンサイジングにつながり、コスト縮減が可能 ③コストを抑えつつZEB化に先進的に取り組む大阪大学のノウハウを活用 ○既存施設におけるZEB化推進に向けた検討 ・ZEB化改修可能性調査を実施 <対象施設> 南大阪高等職業技術専門学校(本館管理棟) 西大阪治水事務所 渚水みらいセンター(管理棟)	▶新築・増改築におけるZEB化推進方針の策定 具体的な施設を念頭においた初期コストアップ、省エネ効果の検証・精査の上、以下を実施 ・建築物の用途、特性等を踏まえたZEB化の目標設定 ・府有建築物環境配慮整備基準、標準仕様の改定 ▶既存施設におけるZEB化推進に向けた検討 ・ZEB化可能性調査の結果を踏まえ、検討を実施 ▷R5 4月下旬にWGを開催予定

各WGの検討状況及び今後の検討の方向性

○率先取組（府有施設再エネWG、公用車電動化WG）

WG名称	令和4年度の検討状況	今後の検討の方向性
府有施設再エネ導入WG WG長： 脱炭素・エネルギー政策課長 副WG長： 公共建築室 設備課長 第1回:11/29	○府有施設への太陽光発電設備の導入 ・府有施設への導入事例や他自治体における先行事例を共有 ・府有施設へのさらなる太陽光発電設備の導入に向けてポテンシャル調査を実施中 ○府有施設における再エネ電気調達の状況等の共有 ・電気価格の高騰など電気調達を取り巻く現状の共有	▶太陽光発電設備を導入する施設の選定 ・ポテンシャル調査の結果を踏まえ、導入見込みがある施設を対象に詳細な調査を実施し、導入の具体化を検討 （R6年度以降に国交付金を活用して導入） ▶今後の電気調達の方針 ・R5年度供給分の電気調達については、引き続き大手前庁舎で再エネ電気を調達 ・電気調達を取り巻く状況を踏まえて対象施設等を検討 ▷次年度上半期にWGを開催予定
公用車電動化WG WG長： 環境農林水産部 副理事 第1回:11/29 第2回: 3/15	○公用車の現状把握 ・車両ごとの使用状況、次回更新予定、ZEV（ゼロエミッション車）導入予定等を調査 ・ZEV導入に係る課題のリストアップ ○課題整理と対応策の検討 ・調査結果を踏まえた課題の整理 ・EV・PHVの充電に関する考え方(充電設備の整備等)や対応策の検討	▶ZEV導入促進に向けた取組み ・導入コスト試算 ・課題整理及び対応策の検討（例） ・民間カーシェアの活用(車両運用効率化) ・充電設備の共有(効率的利用による必要台数の削減) ・初期費用のかからない充電サービス事業者の活用(予算の平準化) ・充電設備の府民利用（料金徴収） ▷R5上半期にWGを開催予定